

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	トンネル内で発生した交通事故により、全面通行止めに出来ず、走行車両がある中の活動事例
3. 体験した事例の中心的要素	NEXCOによると交通量が多い高速自動車道であることから、全面通行止めはできないとのことであり、2車線の内1車線を通行させたままでの活動を強いられることとなった。 トンネル内という暗所での活動に加えて、火災の危険も考慮して活動をおこなったが、真横の車線を車が走行している中での活動は、隊員や資器材が走行車両に接触する危険があり恐怖を感じた。
4. 体験した事例の原因・理由	片側全面通行止めにできないのであれば、NEXCOによる安全配慮が必要と考える。

【体験した事例の直接的原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	情報入力に問題があった。(指示や助言が聞こえなかった。近くの隊員に気付かなかった等)
------------------	--

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成29年9月4日 午後1時頃
2. 発生した当時の天候	曇り
3. 発生した活動現場	屋外: 高速自動車道(トンネル)
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷しそうになった。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	死亡していた(させていた)だろう
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	交通事故
7. 事例体験時の活動	救助 その他: 救助活動中
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	車両運行・部署
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	数年に1度程度の割合で体験している。

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

○当事者A	年齢[45]歳、勤続年数[24]年、現場経験年数[23] 年、階級[消防司令補] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [複数隊の隊長]
○当事者B	年齢[26]歳、勤続年数[7]年、現場経験年数[6] 年、階級[消防士] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [機関員]
○当事者C	年齢[24]歳、勤続年数[6]年、現場経験年数[5] 年、階級[消防士] 同様の活動 [数年に1度程度]、任務 [隊員]
○その他(当事者が4人以上の場合)	出場隊 指揮隊、消防隊、救助隊、救急隊2隊 計5隊 15名

[illegible]

	誰が ⁸ (何が ⁸)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A・B・C	活動中に走行する車両と接触しかけた。	
経過2			
経過3			
経過4			
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

.....

○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思えるか？

○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

集中力、注意力があった 指揮者が適切に指示した 他隊(員)との連携活動がうまくいった 他隊(員)から適切な注意を受けた たまたま、事故にならなかった

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	はい
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	はい
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	はい
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

高速自動車道を通行止め出来ず、またトンネル内での活動で声が通らず、意思疎通に支障をきたした。
--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

--

○装備・資機材の対策について

--

○活動環境の対策について

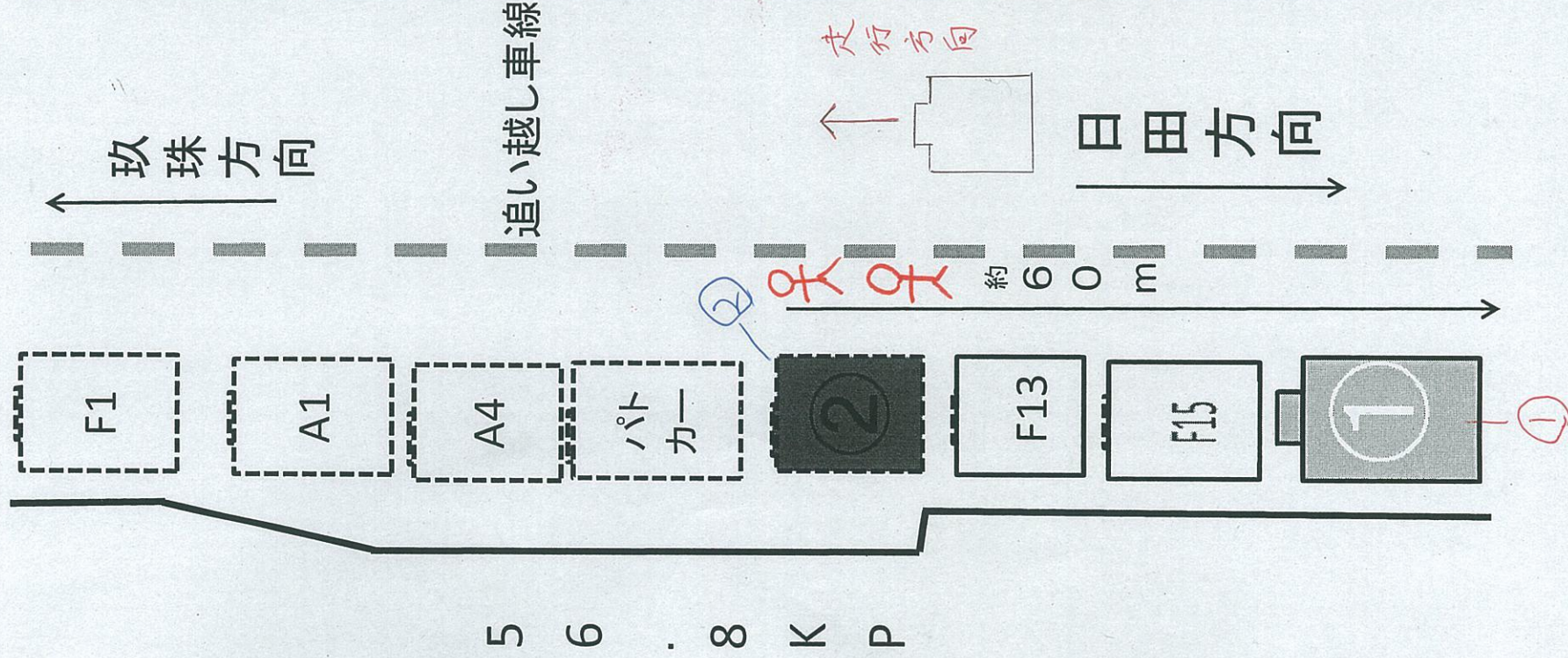
--

○指揮・情報伝達の対策について

--

大分自動車道 下り 天瀬～玖珠間

代太郎トホシ



F1 指揮隊

A1 救急隊 (1台目)

A4 救急隊 (2台目)

F13 消防隊

F15 救助隊

① 事故車両 (普通乗用車)

② 事故車両 (軽乗用車)